



米国銀行株式の下落について

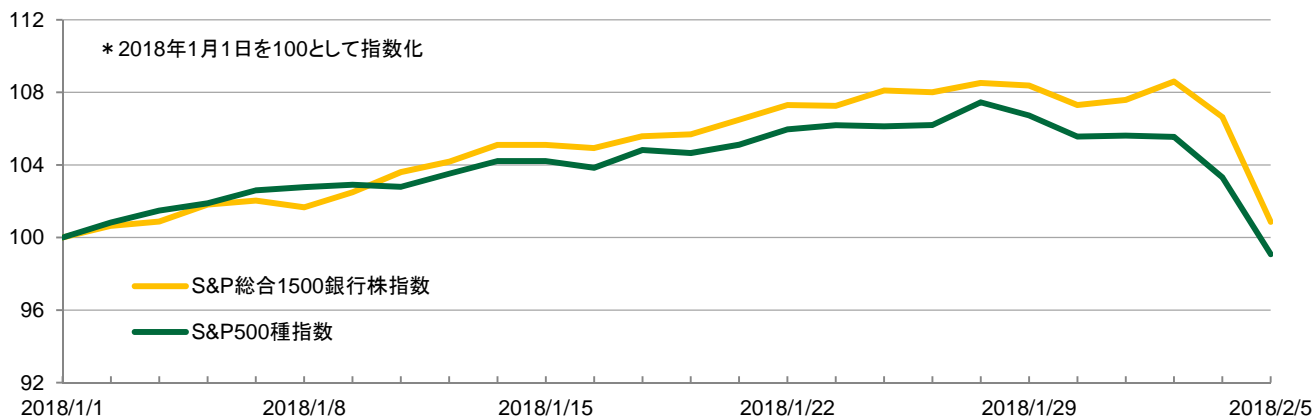
2018年2月5日、米国株式市場が大幅に下落したことを受け、銀行株式も大きく下落しました。(S&P500種指数:-4.1%、S&P総合1500銀行株指数:-5.4%、前週末比)。

米国では、2月に入り雇用統計などの堅調な経済指標の発表が続いたことから、FRB(米連邦準備制度理事会)の利上げが予想より速いペースとなるとの見方が広がりました。これを受けて、米国金利の急速な上昇が景気拡大の重しとなるとの警戒感から投資家心理が悪化し、銀行株式を含め米国株式は大幅な下落となりました。

また、外国為替市場では、株安を受けて投資家のリスク回避の動きが強まり、円が買われた結果、円高米ドル安が進行しました。

直近2日間では銀行株式が大きく下落していますが、年初来ではプラス水準となっています。短期的には株価の変動が大きくなる可能性もあるため、注視が必要ですが、米国銀行業界のファンダメンタルズに対する弊社の見方は変わっておらず、引き続き魅力的な投資先であると考えています。

株価の推移 (2018年1月1日～2018年2月5日、日次)



出所:ブルームバーグのデータをもとにマニユライフ・アセット・マネジメント株式会社が作成

(年/月/日)

[ご留意いただきたい事項]

- 当資料は、マニユライフ・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」といいます)が、投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、特定の投資商品の推奨を目的としたものではありません。
- 当資料記載のデータや見通し等は、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報をもとに作成しておりますが、正確性、適時性を保証するものではありません。
- 当資料の内容およびコメントは資料作成時点における経済・市場環境等について当社の見解を記載したもので当該見解は予告なく変更される場合があり、将来の経済・市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 各指数に関する著作権等の知的財産、その他一切の権利は、各々の開発元または公表元に帰属します。
- 投資信託のお申込みの際は、必ず最新の投資信託説明書(交付目論見書)で商品内容をご確認の上、ご自身で投資のご判断をお願いいたします。
- 当資料に関する一切の権利は、引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部または全部の無断での使用・複製はできません。

マニユライフ・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第433号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会